

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	27年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長	
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト				
事務事業名	港湾環境啓発活動の推進	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7819	
目的	対象(誰・何を)	県民・市民及び港湾関係者				事業 期間	平成16年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	名古屋港の環境への取組みについて関心を持ってもらうようにします。					
概要	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。				根拠 法令等		
28年度の実施予定	パンフレット等を活用し、環境デーなごやなどのイベントの参加や、環境学習を行う予定です。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	環境デーなごやなどのイベントで配布する啓発用パンフレット類を刷新し、積極的にイベントに参加して配布するとともに、小中学校の環境学習に協力しました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	390	186	432	336	新たに啓発用パンフレット及びパネルを作成したため、 昨年度より事業費が増加しました。
人件費	千円	2,643	2,676	2,688	2,669	
合計	千円	3,032	2,862	3,120	3,005	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
パンフレット等の受 取人数(人)	目標	1,100	1,100	1,100	1,100		名古屋港の環境への取組を紹介したパンフ レット等を受け取った人数	
	実績	1,004	645	1,056				
	事業進捗状況(28年度)		<input checked="" type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る		<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る			
環境啓発活動実施 回数(回)	目標	3	3	3	3		各種イベント等において実施した環境啓発活 動の回数	
	実績	3	5	5				
	事業進捗状況(28年度)		<input checked="" type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る		<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	各種イベントでの積極的な啓発をより強化することにより、パンフレット等の受取人数は目標値近くになりました。環境啓発活動実施回数は、積極的にイベントに参加したため増加しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	<input type="radio"/> 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ <input type="radio"/> 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	<input type="radio"/> 広く一般に環境負荷の低減を周知するとともに、名古屋港管理組合の環境の取組について理解を得るために必要です。						
有効性	<input type="radio"/> 事務事業は、施策達成に貢献するか？ <input type="radio"/> 期待どおりの成果が得られているか？	<input type="radio"/> 県民・市民への環境啓発活動としてパンフレット配布等を行い、名古屋港の環境への取組みを広報することにより、良好な港湾環境の形成に貢献しています。 <input type="radio"/> パンフレット等の受取人数は概ね目標値に達しており、環境への取組みについて関心を持っていただいています。						
効率性	<input type="radio"/> 最小のコストとなっているか？	<input type="radio"/> 愛知県や名古屋市が主催するイベントに参加するなど、必要最小限の費用負担で運営しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性			判断理由
	成果	コスト		
	継続	維持	維持	環境啓発活動は、効果的な手法の検討を行いながら、継続的に取り組む必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題				29年度以降の取組
更に多くの県民・市民に名古屋港の環境の取組について、関心をもっていただくよう広報に努めていく必要があります。				環境デーなごやなどのイベントへ積極的に参加し、また、みなと体験ツアー等の機会を活かして、刷新した啓発用パンフレット類を配布するとともに、小中学校の環境学習に協力していきます。